

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科：地理歴史 科目：地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：高等学校 新地理総合（地総-703：帝国書院）／新詳高等地図（地総-702：帝国書院）

教科：地理歴史の目標

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、
国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

科目：地理総合の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当 時数
授業オリエンテーション	授業の進め方・評価の方法・ノート の取り方等指導。 授業事前アンケートの実施。 中学までの既習内容（都道府県・ 県庁所在地など）の確認と復習。	③主体的に学習に取り組む態度 授業事前アンケート			○	2
地球上の位置 緯度・経度について 自転・公転について	人間が生活している地球の大きさ や形を理解し、位置を示すための 緯度・経度の仕組みを学ぶことに より、記号と数値を用いて位置を 示せるようにする。また、自転・ 公転の周期と地軸の傾きによつて 起こる季節変化について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	1
時差について	地球の自転によつて生じる時差の 仕組みを理解し、任意の2点間の 時差を計算できるようにする。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
地球儀と地図	地球上における角度・方位・距 離・面積のすべてが正しい表現方 法は地球儀のみであることを知 り、様々な世界地図の長所・短所 を学ぶことで適した利用方法につ いて考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	1
身の回りの地図・統計地図 地形図 地理情報システム（GIS）の活用	主題図・一般図・統計地図の種類 と特徴について学び、地形図を読 図する図式について復習する。ま た、地理情報システム（GIS）の活 用例として、Google Mapや地理院 地図を一人1台端末を使って実際 に操作してみる。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
国家の領域と国境・領土問題	日本の位置と領域を学び、隣国と の国境に関する各地の紛争を学 ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	1
国家間の結びつきと貿易 さまざまな交通網の発達	東西冷戦後の世界の軍事的・経済 的結びつきについて学ぶ。また、 人が移動するために発達させてき た交通機関のメリット・デメリット について学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
世界を結ぶ通信網の発達 観光のグローバル化	通信技術の発達や高度情報社会の 生活や企業活動について学ぶ。ま た、ヨーロッパや日本の観光の多 様化、グローバルな人の移動につ いて学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2

大地形 小地形	プレートテクトニクス理論について学び、河川が作り出す扇状地や三角州、海岸地域の地形やカルスト地形及び氷河地形など、地形と人間生活の密接な関わりについて学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
期末考査	地球環境とその表現方法や人間生活と自然環境の関わりについて様々な問題を解けるようにする。		○	○		1
47都道府県 世界の国名と主要都市 ふりかえり	日本及び世界の主要都市についての復習と前期の総括。	③主体的に学習に取り組む態度 課題・学習の振り返り			○	1
地形図の読図	図式を活用しながら実際に地形図を読図する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
気温・降水と大気循環	気温や風、降水の仕組み、大気の大循環を学ぶとともに、気候と海流の関係について学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
ケッペンの気候区分	ケッペンの気候区分図を作成させ、それぞれの気候区分の特徴をつかむ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
雨温図・ハイサーグラフ	クライモグラフとハイサーグラフを作成させ、各地域の気候の特色をつかむ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	1
気候区：熱帯・乾燥帯	ケッペンの気候区分により世界の気候の特徴を学び、農業や食文化など、人間生活とのかかわりを学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	1
気候区：温帯・冷帯・寒帯	ケッペンの気候区分により世界の気候の特徴を学び、農業や食文化など、人間生活とのかかわりを学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	1
世界の言語・宗教・民族	世界の言語や三大宗教の特徴、民族について学ぶ。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
アジアの国々 中国の生活・文化	中国の自然環境（地形・気候）を学び、地域ごとの農業の特徴などを考察する。また、中国の鉱産資源の産出地について学び、都市ごとの工業の特徴の違いについて学習する。また、経済特区、日本との貿易について理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
アジアの国々 北朝鮮・韓国	朝鮮半島の分断の背景や、北朝鮮・韓国それぞれお経済発展の違いについて、歴史・文化を絡めて学習する。また、日本との関わりについて考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
東南アジアの生活・文化	東南アジアの自然環境や産業について学び、日本との関わりについて考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
後期 中間考査	地形図の読図の方法や図式について問う。					

	ケッペンの気候区分を中心に世界の気候区の特徴について問う。東アジア・東南アジアについて問い、文化の違いや日本との関わりについて理解できるようにする。		○	○		1
南アジアの生活・文化	南アジアの自然環境、民族や宗教について学び、発展しつつある経済について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境、民族や宗教について学び、発展しつつある経済について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
サハラ以南のアフリカの生活・文化	サハラ以南のアフリカの自然環境、民族や宗教について学び、発展しつつある経済について考える。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
ヨーロッパの生活・文化	ヨーロッパの自然環境を学び、どのように産業に生かしているのかを考察する。また、ヨーロッパのEUへの統合の歩みを確認し、なぜ統合が進んでいるのかを考察する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
ロシアの生活・文化	ロシアの自然環境を学び、その歴史や社会の変化について理解する。また、産業の変遷についても考察する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
アメリカ合衆国の生活・文化	アメリカ合衆国における工業の変遷について理解する。アメリカ合衆国の先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
ラテンアメリカの生活・文化	ラテンアメリカの自然環境について学び、人種・民族の融合で生まれた文化について考察する。また、各国の農業や発展する工業について理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
オセアニアの生活・文化	オセアニアの生活や文化について学ぶ。また、オセアニアとアジア太平洋との結びつきについて、貿易や経済機構を通して理解する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・レポート課題・ノート提出 ③主体的に学習に取り組む態度 レポート課題・学習の振り返り	○	○	○	2
学年末考査	南／中央／西アジア・アフリカ・ヨーロッパ・ロシア・南北アメリカ・オセアニアの自然環境や農業・産業の特徴について問う。また、アメリカ合衆国の建国やヨーロッパのEUの動きについて理解度を問う。		○	○		1
						合計
						50